

## 9.1 災害時の精神保健医療福祉活動

### 【時間経過による活動内容】

災害時の精神保健医療福祉活動は、発災からの時間の経過とともに、その内容も変化していくと考えられます。ここでは3つの時期（直後期、急性期、中期）を提示します。

それぞれの時期における活動として、以下の方針は適切だと思いますか。  
また、それぞれの時期において必要とされる活動、東日本大震災への対応にあたり有用であった活動、あまり有用ではなかった活動などについて、挙げてください。

#### （1）直後期の活動

この時期は、情報が錯そうし、被災の全貌がまだ明らかとならず、混乱しているものと考えられます。

被災の規模にもよりますが、発災後数時間から数日間を指します。

11. 精神保健医療福祉活動は、被災者の衣食住や身体医療への対応がある程度済んでから、開始するほうがよい

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

12. 直後期の精神保健医療福祉活動としては、精神科救急対応が重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

13. 直後期の精神保健医療福祉活動としては、精神科通院患者の服薬継続の維持が重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

14. 直後期の精神保健医療福祉活動としては、精神医療や心理の専門職による心理療  
法が重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

15. 直後期の精神保健医療福祉活動としては、被災した一般住民（精神科の既往のな  
い住民）に対する相談活動が重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

16. 直後期の精神保健医療福祉活動としては、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）への心理教育や普及啓発活動が重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

17. 直後期の精神保健医療福祉活動としては、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）に対する精神的不調のスクリーニングの実施が重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

18. 直後期に、被災地の外部からこころのケアチームが支援に入るとは、適切であると考えますか

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

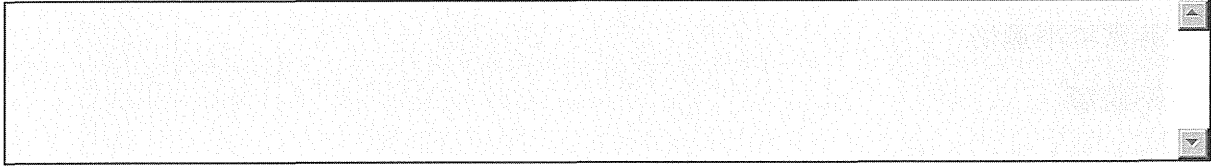
19. 直後期の精神医療救護活動としては、災害派遣医療チーム（DMAT）に精神科医が入っていることが有用である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

20. 今回の東日本大震災により被災した精神科医療機関の支援について、どのような対応が必要だったか、実際にとられたか、それがうまく機能したのか、うまく機能しなかった点があったのか等、ご意見がありましたらお書きください。

21. その他、直後期の精神保健医療福祉活動として、有用であった活動、あまり有用でなかった活動、課題等について、挙げてください



## (2) 急性期（医療対応、避難所対応）の活動

この時期は、被災地の精神科医療機関や交通機関の被災により、通常精神医療の提供が継続できなくなっていると想定されます。

住民の多くが避難所で生活し、集団への対応が求められる時期です。

被災の規模にもよりますが、発災から数日から数カ月程度だと考えられます。

## 22. 1. 精神医療補完活動

急性期のこころのケアチームの活動 としては、精神科救急対応が重要である  
(そのために有用であった活動や課題等について、コメント欄へお書きください)

1. 非常に不適切
2. 不適切
3. どちらともいえない
4. 適切
5. 非常に適切
0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

--

23. 急性期のこころのケアチームの活動としては、精神科通院患者の服薬継続の維持が重要である

(そのために有用であった活動や課題等について、コメント欄へお書きください)

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

24. 急性期のこころのケアチームの活動としては、精神医療や心理の専門職による心理療法が重要である

(そのために有用であった活動や課題等について、コメント欄へお書きください)

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください



25. 2. 避難所対応活動

急性期のこころのケアチームの活動としては、避難所等を巡回し、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）に対する相談活動を行うことが重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

26. 急性期のこころのケアチームの活動としては、避難所等を巡回し、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）への心理教育や普及啓発活動を行うことが重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

27. 急性期のこころのケアチームの活動としては、避難所等を巡回し、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）に対し、精神健康についての標準化された質問紙を用いてスクリーニングを実施することが重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

28. その他、急性期の精神保健医療福祉活動として有用であった活動、あまり有用でなかった活動、課題等について、挙げてください

## (3) 中期（仮設住宅や地域生活）の活動

被災地の精神科医療機関や交通機関が復旧し、住民が避難所を出て、仮設住宅、借り上げ住宅や自宅での生活を始める時期を想定しています。

避難所における集団への対応から、徐々に個別への対応が求められていく時期です。時期的に（2）の急性期と厳密な区別はできないこともありますが、発災から数週間から数カ月経過後から始まると考えられます。

29. 地元の医療機関の機能が回復した段階で、こころのケアチームは医療活動を終了する

1. 非常に不適切
2. 不適切
3. どちらともいえない
4. 適切
5. 非常に適切
0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

30. 中期の精神保健医療福祉活動としては、精神医療や心理の専門職による心理療法が重要である

1. 非常に不適切
2. 不適切
3. どちらともいえない
4. 適切
5. 非常に適切
0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

31. 中期の精神保健医療福祉活動としては、仮設住宅等を巡回し、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）に対する相談活動を行うことが重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

32. 中期の精神保健医療福祉活動としては、仮設住宅等を巡回し、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）への心理教育や普及啓発活動を行うことが重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

33. 中期の精神保健医療福祉活動としては、被災した一般住民（精神科の既往のない住民）に対し、精神健康についての標準化された質問紙を用いてスクリーニングを実施することが重要である

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

34. その他、中期の精神保健医療福祉活動として有用であった活動、あまり有用でなかった活動、課題等について、挙げてください

## 12. II こころのケアチームのあり方

### 【こころのケアチームの目的、役割】

35. 東日本大震災においても、また過去の災害においても、「こころのケアチーム」の定義があいまいであることから、様々な混乱が生じました。「こころのケアチーム」の担う役割は、災害発生後の時期により変化していくものと考えられますが、大枠として、以下の3点に整理してよいかと考えられます。

(1) 被災地の精神科医療機関の機能が低下した場合、それを補う支援医療機関が被災した場合、交通手段が機能しない場合などに、通院患者の服薬の継続を確保する。精神科救急の機能を維持する。

(2) 一般住民への精神保健的対応  
避難所などを巡回し、ニーズを拾う。心理教育などを行う。

(3) 支援者への支援  
地元の支援者（例えば、消防関係者、警察関係者、行政職員、医療関係者、教育関係者など）を支援するため、支援者のストレスへの対応を行ったり、支援者のスキルアップのための研修、コンサルテーションやスーパーバイズの提供などを行う。

・以上のような整理は適切だと考えられますか。

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

--

## 【情報共有】

## 36. 【診療記録（個人データ）の持ち帰り】

外部から被災地へ支援に入ったチームが作成した診療記録（個人データ）の取り扱いについて、どのような方針が適切だと考えますか。

1. 各こころのケアチームが作成した診療記録（個人データ）は、コピーも含めて派遣元へは持ち帰らない
2. 各こころのケアチームが作成した診療記録（個人データ）は、個人情報削除したうえで、派遣元やこころのケアチームのスタッフの所属先へコピーを持ち帰り、活動の検証等を行うことに用いてよい
3. 各こころのケアチームが作成した診療記録（個人データ）は、個人情報削除したうえで、派遣元やこころのケアチームのスタッフの所属先へコピーを持ち帰り、学術論文の作成に活用してよい
4. その他（下記にお書きください）

ご意見がありましたら、お書きください

## 37. 【情報共有】

現場の活動において得た個人情報は、その地域の支援者の内で必要に応じて共有するとどめ、それらの支援者以外の者が閲覧可能なメーリングリストや掲示板などに流れないように、厳重に注意する。

1. 非常に不適切
2. 不適切
3. どちらともいえない
4. 適切
5. 非常に適切
0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

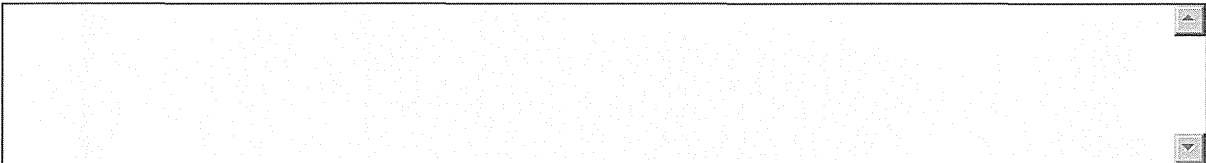
## 【活動後について】

38. (こころのケアチームのスタッフとして派遣された方にのみ、お聞きします)

今回の東日本大震災における活動終了後、派遣先から戻ったこころのケアチームのスタッフの精神健康を保つうえで役立ったことをお書きください

(以下に、既存のガイドラインの項目を例示します。他にどのようなことが役立ったか、また、必要だと感じられたか、お書きください。)

- ・派遣から戻った後、派遣されたチーム内で派遣体験の振り返りを行うミーティングを行う
- ・派遣から戻った後、派遣されたスタッフに対し、健康状態を把握するためのスクリーニングや面談ができる体制をつくる
- ・派遣から戻った後、派遣されたスタッフが休養できる期間を設ける
- ・被災地に職員の派遣を行った組織では、災害時の職員の派遣を、派遣された職員だけでなく、派遣されずに組織に残り、通常業務をカバーした職員も含めた組織全体の活動として、位置づける





## 15. III 支援者の支援

災害時の支援者の支援については、第一に、過重労働を防ぎ、休養を確保することで、心身の健康を維持することが必要であると考えられます。

これは、こころのケアの課題というよりも、産業保健の領域における労務管理の課題であると考えられます。

そのうえで、追加としてこころのケアとしてどのようなことが必要か、考える必要があります。

災害時の支援者の支援は、以下の3つに分けて考えることができます。

### (1) 労務管理

過重労働を防ぐ。休養を確保する。

- ・ 平時から災害に備えて、被災時の職員の勤務のあり方、特に休息・休養をとることの必要性について、組織全体が把握しておくためのマニュアル作成あるいは研修を実施する
- ・ 災害対応時にも、職員に休養をとらせるためローテーションを組む
- ・ 災害対応時、職員に十分な休養をとらせることができない状況であっても、職場や避難所に、プライバシーを保つことができる職員のための休憩場所を設ける

### (2) ストレス対応

#### a. 惨事ストレスへの対応

#### b. 災害対応業務によるストレスへの対応

- ・ 平時から研修などで、セルフケアについての啓発、教育を十分に行う
- ・ 職員の災害対応によるストレス、精神健康の状態を把握するため、スクリーニングを行う

### (3) スキルアップのための支援

研修、コンサルテーションやスーパーバイズを提供する

39. 以上のような整理は適切だと考えられますか

- 1. 非常に不適切
- 2. 不適切
- 3. どちらともいえない
- 4. 適切
- 5. 非常に適切
- 0. よく分からない

ご意見がありましたら、お書きください

40. 支援者（例えば、消防関係者、警察関係者、行政職員、医療関係者、教育関係者など）の支援として、スクリーニングを行ったり、個別にカウンセリングを行うことは有用だと考えますか。ご意見をお聞かせください。

41. その他、今回の東日本大震災における支援の際、支援者の精神健康を保つうえで役立ったことをお書きください

## 16. IV 自由なご意見をお聞かせください

今回の東日本大震災への対応を含めて、これまでの災害時の支援活動はそのときにできる最大限のことをされてきたことと思います。この調査は、これまでの対応を否定的に捉えているものではありません。皆様の経験をいかし、実際の対応面での困難を検討していくことで、よりよい支援をつくるために行なっているものであることをご理解いただけますと幸いです。

1. 災害時の「こころのケア」として、実際に有用であった活動、あまり有用でなかった活動はどのような活動だと考えますか。

ご自由にご意見をお書きください。

また、このほかにも、この場で他の調査参加者の意見を聞いてみたい意見がありましたら、お書きください。

次回の調査項目として、検討させていただきます。

### 42. 「こころのケアチーム」について

災害時の「こころのケアチーム」に求められる活動、およびその活動時期について、お考えをお聞かせください

43. 災害時の「こころのケアチーム」のスタッフの職種として、優先順位の高い職種、あまり高くない職種について、どのようにお考えですか

44. どのような「こころのケアチーム」が理想的でしょうか

## 17.

### 45. 災害時の精神保健医療福祉活動について

次に大規模災害が発生する前に、精神保健医療福祉領域において解決しておかなければならない点をひとつだけ挙げるとすれば、それはどのような点でしょうか

### 46. 他に、この場で他の調査参加者へ聞いてみたい質問項目がありましたら、お書きください